

〈事業報告〉

むらさきかん 2022.9.11

開館10周年記念事業



●協働先

NPO法人落の臺、東部地域包括支援センターなど22団体

●事業成果

総来場者数：1128名
地域団体や近隣のNPO法人、学校、西三河児童・障害者相談センターなど、市民活動団体以外の団体にも参加していただき、多様な主体と協力して周年イベントが開催できました。



悠紀の里 2022.10.16

ゆきファミリーパーク



●協働先

ゆきファミリーパーク
実行委員会

●事業成果

総来場者：896名
昨年度はコロナ禍で展示のみの開催にしたことも影響してか、イベント形式で募集した今年度は、予想を超える数の出展申込がありました。また来場者も非常に多く、「子育て支援」をキーワードにしたイベントの需要の高さを感じました。



〈市民活動相談事例 1月・2月〉

市民活動センター

新しい情報ひろばのログインの仕方がよくわからない。
→簡易マニュアルをお渡ししています。それでも分からない箇所は、お電話もしくは、来館にて対応する旨をお伝えしました。

なごみん

ヨガやストレッチをやっている団体を知りたい
→なごみんを利用している市民活動団体を紹介。複数の団体の活動内容や特徴などをお伝えし、マッチングにつなげました。

〈その他の取組 1月・2月〉

むらさきかん

むらさき麦まつり連携事業「市民活動博覧会2023」の第1回実行委員会を実施しました。

やはぎかん

3月4日に実施される市民活動フェスに向けて、市民活動フェス実行委員会が立ち上がりました。

まち育て推進チーム Pick UP！

〈イベントレポート〉



第2回 下山のよりよい未来を考えるワークショップ

下山学区地域づくり協議会主催のワークショップの企画・運営をりがサポートしました。前半は、理想とする下山の将来像をグループ内で共有。後半では、その未来に向けて、旧JA下山支店の建物の使い方や空間イメージをデザインゲーム方式で考えました。最後に各グループでまとめたものを発表し、参加者で共有をしました。さらに、ここででた意見をもとに完成予想図(パース)を作成し、参加者をはじめとする下山地区の方々に、フィードバックしていきます。

| | | | | | | |
|------|-------|---------|--------|---------|-----------|---------|
| お問合せ | よりなん | 59-3600 | むらさきかん | 66-3066 | 市民活動センター | 23-3114 |
| なごみん | やはぎかん | 33-3665 | 悠紀の里 | 57-5050 | まち育て推進チーム | 23-2888 |

まちのミカタ

Litaracy

2023.03 vol.120

発行・編集



特定非営利活動法人
岡山まち育てセンター・Lita

〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
TEL(0564)23-2888 / FAX(0564)23-2898
http://www.okazaki-lita.com/
https://www.facebook.com/okazaki.lita/

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra / 岡崎市内の地域交流センター
会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所 / 岡崎市各市民センター / シビックセンター /
FMおかざき / 杉くんの駄菓子屋 / 松應寺 / cafeくらがり /

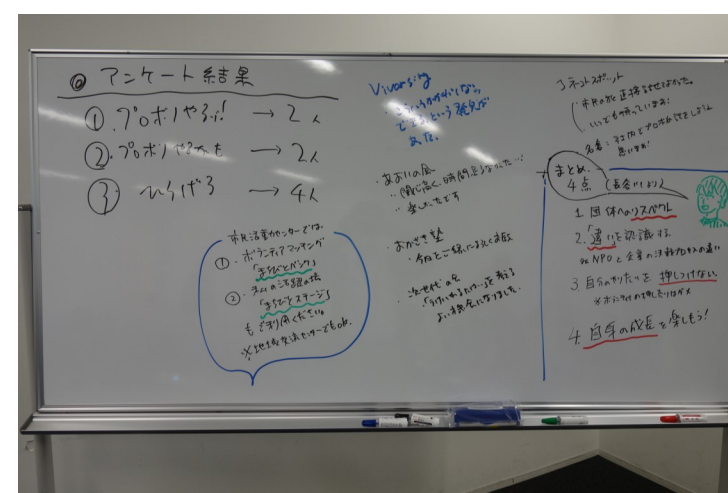
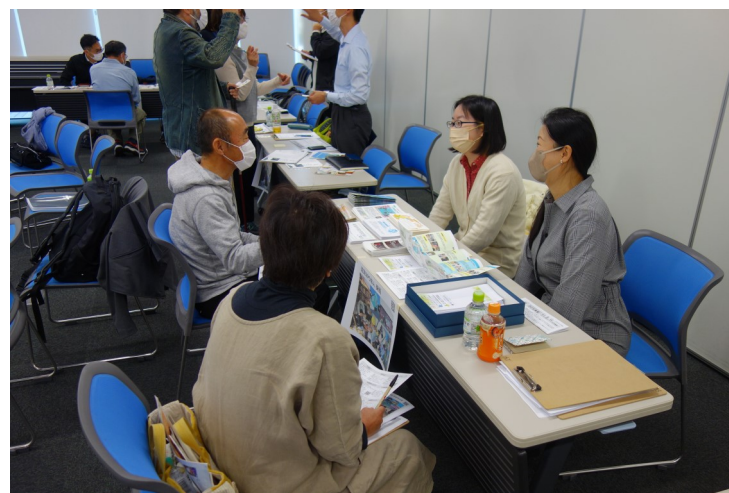
まちのミカタ

Litaracy

ーりたらしいー

120

2023年 3月



特集

プロボノという社会貢献のかたち ～あなたのスキルがもっと社会につながる～

みなさん、「プロボノ」という言葉を聞いたことはありますか？社会人が自分の専門知識や技能を活かして社会貢献活動に参画することを意味する言葉です。近年、新しい社会との関り方・社会貢献のあり方としてその可能性に注目が集まっており、取組が広がっています。

今号の特集では、10月29日に図書館交流プラザりぶらで行われた市民活動センター事業「プロボノ研修 ～あなたのスキルがもっと社会につながるセミナー～」の内

容をご紹介します。「経験・スキルを社会に活かしたい」「職場以外でのつながりを広げたい」と考えている方と、様々なスキルを持つ方の力を借りたいNPOをうまくつなげられないか、との思いから企画した事業です。

この記事から少しでもプロボノとりたの取り組みについて知ってもらうとともに、今後「プロボノとして活動する自分」・「所属組織でのプロボノ受入れ」についても、考えていただけたら幸いです。

プロボノという社会貢献のかたち ～あなたのスキルがもっと社会につながる～

今回の「プロボノ研修」は、りたとしては初(おそらく岡崎市内でも)のプロボノに関する研修でした。参加者がイメージを掴みやすいよう市内事例を紹介するとともに、自分でプロボノをする先の団体を見つけるのはハードルが高いため、受入れ希望団体との交流会まで行う、盛りだくさんの2時間でした。当日は、企業に勤める方、行政職員の方、まちづくりに関わるNPOの方など、多様な受講者9名の参加がありました。

●ミニ講座～プロボノとは？～

まずは、研修の導入部としてプロボノの概要説明。国内で広まっている状況やプロボノが必要とされるNPO側の事情、生かせる経験・スキルの例、プロボノによる主な支援内容と参加方法等をコンパクトにまとめてお伝えしました。

●事例紹介～コネクトスポットの場合～

市内の事例として、ひきこもり・不登校の方等への支援を行っているNPO法人コネクトスポットの山下祐司代表、プロボノとして参画されたブラザー工業株式会社の名倉大輔さんに、団体とプロボノ両方の立場からお話をしてもらいました。

対話を通じて「志を事業にする過程を整理し、行動につなげるお手伝い」をしたという名倉さん。マーケティングや財務分析などのスキルでもサポートしたが、ビジネス上のノウハウよりも、まず「熱い思い」「相手に寄り添う気持ち」「最後まで聴ききる姿勢」といった心構えがプロボノには必要、という発言が印象的でした。また、プロボノ経験を通して自分や本業にも変化が生まれる、とも語られました。

山下さんからは、一般的にプロボノに関わってもらうのは事業や運営の中核部分であり、「この部分を支援してもらいたい」という目的意識、プロボノ参加者にどんな学びを提供できるかを考える、団体側の姿勢の重要性について話がありました。

●プロボノ 受入れ希望団体との交流タイム

続いて、岡崎市内で地域・社会課題の解決やまちづくりに取り組んでいる5団体と受講者との30分間の交流タイムを設けました。とても熱量の高い情報交換の場になりました。最後に、プロボノ希望者が心を得るべき4つのポイント(右記)を共有し、研修は終了しました。

アンケートから実際に連絡先交換を仲介したのはのべ5件。これ以外にも現場では活動参加につながるやりとりが持たれたと考えています。

●今後の展望～岡崎でプロボノを広めるために～

りたとしては、今後も、市民活動センター・地域交流センターの運営の中で、岡崎でプロボノが広がる素地を耕していきます。そのためにも活動団体のニーズ把握や働きかけを深め、専門のコーディネート団体や地元企業等の外部との協力関係を築く取組を進めたいと考えています。

○プロボノ…もう少し詳しく！

「プロボノ」は「公共善のために」を意味するラテン語「Pro Bono Publico」を語源とする言葉で、アメリカ発祥のものです。当初は法律家を中心に、低所得者への無償法律相談やNPOへの法務支援などの社会貢献活動を指すものでした。その後、フリーランスの「士業」に広まり、2000年代以降は、一般企業の営業職・事務職等でも、その経験・スキルを活かしたボランティアはひろく「プロボノ」とであると認識されるようになります。今ではマーケティング、IT、デザイン、経営戦略、人事など、ビジネスに関わる様々な分野を対象に、NPO等を支援するという形で取り組みが広がっています。

2000年代後半に日本でも「プロボノ」を社会に広める動きが活発化、コーディネート団体により日本にマッチした様々なプログラムが提供されてきました。企業側からも社会貢献と社員育成等を目的に積極的な関与がいくつも生まれています。その他にも、自治体と企業の協働マッチングイベントやプログラム、個人と団体を直接つなぐマッチングサイトも登場しています。



▲事例紹介(左：山下さん、右：名倉さん)



▲交流タイムの様子

- ★団体への**リスペクトの気持ち**を忘れずに！
⇒難しいことにチャレンジしている
- ★「**違い**」を認識して、**受け止めよう**！
⇒NPOと企業等では「あたりまえ」が違うこともしばしばあります
- ★自分のやりたいを**押しつけない**！
- ★楽しむ＝**自身の成長も大事**にしよう！

▲プロボノ活動希望者への 4つのポイント

SNS連携など、新たな機能を備えてオープン！

1月24日、「おかざき市民活動情報ひろば」がリニューアルされ、新たに運用が開始されました。「おかざき市民活動情報ひろば」(以下“情報ひろば”)とは、岡崎市が市民活動活性化のために設置しているサイトで、岡崎市に登録している様々な市民活動団体が活動内容やイベントを紹介できる仕様となっています。

昨今、情報発信の方法は飛躍的に進化し、リアルタイムの情報や動画での発信が誰でも手軽にできるようになりました。

そこで今回のリニューアルでは、新しくSNSとの連携システムが組み込まれており、FacebookやYouTube等の各団体ページの埋め込み表示が可能になっています。情報ひろばのサイト上から、各団体のリアルタイム情報や動画に大変アクセスしやすくなっていますので、ぜひご活用・ご覧ください。

自分で団体のホームページを作成しようとすると、どうしても時間や費用がかかってしまいます。しかし、今回リニューアルされた情報ひろばは、一般的なホームページと同様の情報発信力をもつと同時に、運用しやすくランニングコストがかかりません。多くの団体に上手く活用いただき、団体の広報力を高めていただけるよう、今後も支援していきたいと思います。

情報ひろばの活用についてのお悩み等ありましたら、市民活動センターや地域交流センターへお気軽にご相談ください。

おかざき市民活動情報ひろば URL
https://okazaki.genki365.net



▲おかざき市民活動情報ひろば



▲新“情報ひろば”のりたのページ。SNSの埋め込みやまちびとバンクの案内を発信しています。

りた's Eye

情報ひろばでは、引き続き様々な市民活動団体の情報を得られるだけでなく、ボランティア募集の情報や助成金情報なども掲載されます。また、各団体のページでは、2段階認証が導入され、セキュリティも強化されました。そのため、情報ひろばの利用にはメールアドレスの登録をおススメしています。

りた職員の思いを伝える！

コラム ~lita column~

矢作三区山車保存会に入ったよ



▲矢作三区山車保存会の皆さん。写真を撮ったのが私です。

矢作町三区にある山車をご存じですか？

天保10(1839)年に造られた歴史ある山車です。矢作町にはほかに二区の山車も現存しており、それぞれの保存会で伝統文化の継承をしています。

山車保存会のメンバーは男性が多く、山車の曳行では、粋な男衆が活躍します。近年は、担い手不足が課題となり、地域住民へのPRなど熱心に行っています。

私がやはぎかんで勤務していた時は、山車保存会の活動を近くで見えて支援することができましたが、やはぎかんで離れることになり、地域に貢献したい気持ちが生まれたため、山車保存会に入会しました。

コロナ禍で活動が制限されて思うように活動ができていませんが、山車保存会の活動で得た「自分が地域の一員であり担い手である」という自覚を常に持ち、交流センターでの窓口業務を行っていききたいと思います。



石田浩美(よりなんセンター長)
矢作町在住。2008年11月にりた入社。よりなん、やはぎかんで、現在はよりなんにて勤務。